

令和5年7月5日

令和4年度 教職課程の自己点検・評価の総括

教育担当理事

1. 実施内容

「香川大学における教職課程の内部質保証に関する方針」に基づき、初年度となる令和4年度はレビュー（総合的な点検・評価）を実施した。教職教育委員会において、部局等の自己点検・評価結果報告をもとに、教職課程の内部質保証の点検・評価を行った。

2. 教職教育委員会における自己点検・評価実施状況

(1) 「香川大学における教職課程の内部質保証に関する方針」に定める教職課程の内部質保証の項目

- ① 教育理念・学修目標
- ② 授業科目・教育課程の編成実施
- ③ 学修成果の把握・可視化
- ④ 教員組織
- ⑤ 情報公表
- ⑥ 教職指導（学生の受け入れ・学生支援）
- ⑦ 関係機関等との連携

(2) 教職教育委員会所見

「香川大学における教職課程の内部質保証に関する方針」に定める教職課程の内部質保証の項目について、点検・評価が実施されている。

(3) その他特記事項

自己点検・評価項目のうち、2項目について「該当なし」との回答があった部局について再確認を求める改善指示を行った。当該部局から認識誤りによる回答であったため、根拠資料の提出により、2項目とも「適切である」とした自己点検・評価の訂正があった。

再確認の結果、適切に点検・評価を実施していることを確認した。

評価結果

| 自己点検・評価項目 | チェックポイント | 評価 | 改善指示等 |
|--------------------|---|-------|-------|
| 教育理念・学修目標 | 教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画の策定状況 | | |
| | a. 具体的かつ明確な形で設定されているか | 適切である | |
| | b. 学生や採用権者の意見の考慮、所在する都道府県・政令指定都市教育委員会の策定する教員育成指標との関係性の考慮が行われているか | 適切である | |
| | c. 一人一人の学生が教職課程での学修を通じて得た自らの学びの成果（以下「学修成果」という。）や自己点検・評価の結果、社会情勢や教育環境の変化等を踏まえた適切な見直しが行われているか | 適切である | |
| 授業科目・教育課程の編成実施 | 複数の教職課程を通じた授業科目の共通開設など全学的な教育課程の編成状況 | | |
| | a. 複数の教職課程間における授業科目の共通開設は、開設に責任を負う学科等の強み・特色を生かしつつ適切に行われているか | 適切である | |
| | b. ICT（情報通信技術）環境（オンライン授業含む）、模擬授業用の教室、関連する図書など、教職課程の授業科目の実施に必要な施設・設備が整備されているか | 適切である | |
| 学修成果の把握・可視化 | 成績評価に関する全学的な基準の策定・公表しているか | 適切である | |
| 教職員組織 | 教職課程認定基準で定められた必要専任教員数を充足しているか | 適切である | |
| | 担当授業科目に関する研究実績、担当教員の学校現場等での実務経験は基準に相当しているか | 適切である | |
| | 教職課程を適切に実施するため、事務組織を設け、必要な職員数を配置できているか | 適切である | |
| | いわゆる教科専門の授業科目を担当する教員や実務家教員も含め、教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画への理解をはじめ教職課程を担う教員として望ましい資質・能力を身に付けさせるためのFD・SDが確実に実施されているか、適切な内容が実施できているか、実際に参加が確保できているか | 適切である | |
| 情報公開 | ①学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第172条の2のうち関連部分、教育職員免許法施行規則第22条の6に定められた情報公表が学外者にもわかりやすく実施されているか | 適切である | |
| | ②学修成果に関して適切に情報公開されているか 大学が必要な資質・能力を備えた学生を育成できているかどうかを、エビデンスとともに説明できているか | 適切である | |
| | ③教職課程の自己点検・評価に関する情報公表を、根拠となる資料やデータ等を示しつつ、わかりやすく公表することができているか | 適切である | |
| 教職指導（学生の受け入れ・学生支援） | 教職課程を履修する学生の確保に向けて、積極的な情報提供の実施ができているか、教員の養成の目標に照らして適切に学生を受け入れているか | 適切である | |
| | 必要な体制や施設・設備を整えた上で、個々の学生の教職に対する意欲を踏まえつつ、学生に教職課程の履修に当たって学修意欲を喚起するような適切な履修指導が行えているか（履修指導） | 適切である | |
| | 学生に教職への入職に関する情報を適切に提供するなど、学生のニーズに応じたキャリア支援体制が適切に構築されているか（キャリア支援） | 適切である | |
| 関係諸機関との連携 | 教員の採用を担う教育委員会や各学校法人と適切に連携・交流を図り、地域の教育課題や教員育成指標を踏まえた教育課程の充実や、学生への指導の充実につなげることができているか | 適切である | |
| | 教育実習を実施する学校と適切に連携・協力を図り、実習の適切な実施につなげることができているか、学校体験活動や学習指導員としての活動など学校現場での体験活動を行う機会を積極的に提供できているか | 適切である | |
| | 学外の諸機関との連携の下、教育課程を充実するために学外の多様な人材を実務経験のある教員又はゲストスピーカー等として活用することができているか | 適切である | |

| 自己点検・評価項目 | | 授業科目・教職課程の編成と実施 | | | | | | | | | | 学修成果の把握・可視化 | | | 教職員組織 |
|-----------|-------|---|--|---|--|---|--|---|--|---|---|---|---|--|--|
| | | 教育課程の体系性 | | | | | 教育課程に相応しい授業科目の構成 | | | | | | | | |
| チェックポイント | | かれとび a 適対当 . 切応該法 なし目令 役必標及 割要をび 分な達教 担授成員 が業すの 図科る養 ら目た成 れがめの て開の目 い設計標 るさ画及 | 割のる b 分全こ . 担体と例 が像がえ 適に必ば 切対要、 図に成な しI員 らてCと れ各Tし て科活 かの間指 の導つ 役力け | 準 c と . な到 つ達 て目 い標 か学 修 量 が 適 切 な 水 | し保 d てす . いる 1 る上単 かで位 Cあ Aた Pリ 制の が学 有修 効時 に間 機を 能確 | 切結 e な果 . 見等学 直を修 し踏成 がま果 行えや わて自 れ、己 て教点 い育検 る課・ か程評 の価 適の | るリ学当 a かキ習該 . ユ指目法 ラ導標令 ム要を、 へ領達教 対びすの 応教る養 が職た成 図課めの ら程の目 れコ計標 てア画及 い力、び | 載修法目計標 b と、の画及 . れ事計目とびシ て後画的授当ラ い学、と業該バ かの績達目標に 容価標の達教 等基、関成員 が準内係すの 明、容、る養 確事と授た成 に前方業めの 記学 科の目 | ら動導や少 c す入I人 . 工るしC数授 夫ー、Tの業 がな一をア科 行ど考活ク目 わのえ用テの れ多るしイ到 様一たブ達 いな「新・目 る学話たら標 も「法ンじ た行をグ、 | 適結 d な等学 見を修 直踏成 しま果 行て自 わ、己 れ個点 て々検 いの・ る授評 か業価 のの | て主前実役 e い体指習割 . る的導（を教 かな・学果職 関事校た課 与後体す程 の指験教に 下導活職お でを動実い 適含含践て 切めむ演特 に、）習に 行大は、重 わ学、教要 れの事育な | 用向成定ら教 でけささか員 きたれれにの て「ててす養 い履いおる成 る修るりたの か力か、め目 テ教れ情の 一職が報達 を実どが成 適踐の適状 切演程切況 に習度にを 活に達説明 | い数成で各 る・水き授 か評準る業 に明け目 反ら定のの 映か量到 すに的達 るし又目 こ、は標 と厳定に でに的ら き点にし て達て | なのか公 つ配ら正 て点達で い基成透 る準水明 かが準な あを成 ら測績 か定評 じす価 めると 明手い 確法う にや観 そ点 | 成効F個 ・果D々 実的のの 施な機授 が授会業 行業で科 え評活目 て価用の いアで見 るンき直 かケるし Iよに トウ繋 のにが 作、る |
| 教育学部 | 評価 | 適切である | 適切である | 適切である | 適切である | 適切である | 適切である | 適切である | 適切である | 適切である | 適切である | 適切である | 適切である | 適切である | 適切である |
| | 改善指示等 | | | | | | | | | | | | | | |
| 法学部 | 評価 | 適切である | 適切である | 適切である | 適切である | 適切である | 適切である | 適切である | 適切である | 適切である | 適切である | 適切である | 適切である | 適切である | 適切である |
| | 改善指示等 | | | | | | | | | | | | | | |
| 経済学部 | 評価 | 適切である | 適切である | 適切である | 適切である | 適切である | 適切である | 適切である | 適切である | 適切である | 適切である | 適切である | 適切である | 適切である | 適切である |
| | 改善指示等 | | | | | | | | | | | | | | |
| 医学部 | 評価 | 適切である | 適切である | 適切である | 適切である | 適切である | 適切である | 適切である | 適切である | 適切である | 適切である | 適切である | 適切である | 適切である | 適切である |
| | 改善指示等 | | | | | | | | | | | | | | |
| 創造工学部 | 評価 | 適切である | 適切である | 適切である | 適切である | 適切である | 適切である | 適切である | 適切である | 適切である | 適切である | 適切である | 適切である | 適切である | 適切である |
| | 改善指示等 | | | | | | | | | | | | | | |
| 農学部 | 評価 | 適切である | 適切である | 適切である | 適切である | 適切である | 適切である | 適切である | 適切である | 適切である | 改善を要する | 改善を要する | 適切である | 適切である | 適切である |
| | 改善指示等 | | | | | | | | | | シラバスの内容把握等が適切に行われているか再確認していただきたい、 | 「学びの計画と履歴」、「教職実践演習基本テキスト」の適切な活用を学部内で検討していただきたい。 | | | |